

## 優秀賞

たすけあい

真鶴町立まなづる小学校五年 関 空

朝、友達と歩いていた時のことです。前にたくさん荷物をもっている、おばあちゃんがいきました。友達と手伝おうと話をしていました。けれどもなかなか声をかけることができませんでした。

中休み、お手伝いが少しでもできないかと図書室でさがしてみることになりました。色々本を読みました。私の中では、お手伝い、助けてあげることがは、道を教えてあげること、物をもってあげることだと思いました。私も正直、お手伝いをしてあげることがあまりなかったので、どうしたらいいかわかりませんでした。

そんな時、「バリアフリー」と、かいてある本をみつけました。表紙には、つえをもった人、車イスにのった人の絵がかいてありました。これは色々な人を助けられるのではないか、と考えました。しかしまだ「バリアフリー」という、言葉をしらなかったのです、最初は全然、意味がわかりませんでした。でも、読んでいくうちに、だんだんという意味が分かりました。

バリアフリーとは、障がいのある人、お年よりの人はもちろん、赤ちゃんをつれた人のために、席をゆずってあげる、目のみえない

人には、声や点字で伝える。耳の聞こえない人には、手話や字で伝えてあげます。色々なことがかいてありました。私たちの真鶴町には町民センターという所があります。そのカウンターに手話のかいてある紙があります。そういうところや町は小さいけど色々な所に点字があります。そういうのは昔とは変わったと思います。なにげないさかみちや階さんは、たいへんだと思いました。こまっているひとがいたら助けてあげようと思いました。

私はあの本のおかげで前いた、おばあちゃんや障がいのある人を助けることができます。私は今では人を助けることが大好きです。